



【NO.07】2025年 春  
本願寺吉崎別院だより よっさきさん

発行

## 本願寺吉崎別院

〒922-0679  
福井県あわら市吉崎 1-201  
電話/FAX: 0776-75-1903

### 春季彼岸会・永代経のご案内

3月20日、春季彼岸会・永代経法要をお勤めいたします。永代経法要は午前中、彼岸会は午後からの法要となります。ご参拝の方には参拝記念品として「蓮如さんのお言葉缶バッジ」をご用意いたしました。

また、お彼岸にあわせ「御山」蓮如上人銅像前でも東西吉崎別院合同での法要がお勤めされます。

御山は河津桜の満開を迎えていることでしょう。道の駅でのお買い物も楽しみつつ、ごゆっくりと賑々しくお参りくださいませ。

皆さまのお彼岸参りを心よりお待ちしております。

【期日】3月20日(木)

御山法要(10時)

御山蓮如上人像前

※雨天時は吉崎西別院中宗堂

永代経法要(11時15分)中宗堂

彼岸会法要(14時)本堂

【布教】別院職員



### 蓮如上人御忌法要のご案内



吉崎別院最大のご仏事「蓮如上人御忌法要」を今年も4月27日(土)から5月1日(水)までの5日間、左記の通り厳修いたします。

「年に一度は吉崎へ」を合言葉に、お誘いあわせ賑々しくお参りくださいませよう、ご案内申し上げます。皆さまのご参拝を心よりお待ちしております。

【期日】4月27日(土)より5月1日(水)まで

各日ともに日中(午前10時)・速夜(午後2時)の2座

※本堂でのご法要45分前(日によって前後します)に、蓮如上人のご眞影をご安置する中宗堂にて、職員によるお勤めが修行されます。

【布教】吉崎近隣の加賀、あわら、坂井市を中心とした本願寺派布教使の方に毎座入れ替わりで60分ほど(1座2席)のご法話をいただきます。各座のご講師は4月中旬ごろに決定する予定です。決定しましたら別院境内にて掲示予定です。

#### 【御忌法要期間中の特別法要】

【念力門法要】4月27日(日) 日中(午前)

本山からいただいた「念力門」を250kmの道のりを運ばれた方々のご功労を偲び、念力門下の顕彰碑前で執り行われます。

【朝倉公法要】4月27日(日) 速夜(午後)

吉崎御坊の建立にあたって、ご功績のあった戦国大名朝倉孝景公を偲ぶ法要です。本堂での法要後、引き続き執り行われます。

【本光坊法要】4月28日(月) 速夜(午後)

お聖教を命をかけて守った本光坊了願様のご功績を偲ぶ法要です。本堂での法要後、引き続き足羽組本向寺様により執り行われます。

【御山法要】4月29日(火) 日中(午前)

蓮如上人ご滞居の当時を偲び、旧跡地「御山」蓮如上人銅像前で東西別院合同で法要が執り行われます。

【お斎・ご休憩】お弁当の場所など、ご休憩は門徒会館食堂をご利用いただけます。お弁当のご予約を承りますので、4月15日(月)までにご相談ください。

【法要のお手伝い募集】法要をお手伝いくださる方を募集しております。なにとぞお助けくださいますようお願い申し上げます。詳しくは別院までお問い合わせください。



## 吉崎別院・崇敬三組合同 850/800 慶讃法要



去る令和6年9月14日吉崎別院と吉崎別院の崇敬区域（石川教区江南組・福井教区阪北組・円陵組）合同の親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が厳修されました。ご法要は福井・石川県から募集した稚児行列に始まり、吉崎別院輪番導師のもと崇敬3組の僧侶が出勤し福井教区雅友会さまが雅楽の合奏をお勤めくださいました。布教は熊本教区の葦原理江師による節談説教でのご法話をいただきました。「こどももおとなもよっさき参り」をテーマとして境内パネル展や本堂音楽会、門徒会館では手作り体験のワークショップを開催いたしました。大勢の方々のご参拝ください、誠にありがとうございました。



## 本堂内陣余間畳新調

去る令和5年9月15日から17日にかけて東西有志若手僧侶を中心として厳修された吉崎御坊御開創五五〇年記念法要の実行委員会さまからいただいたご懇志によって、本堂余間の畳を新調させていただきました。

本堂屋根瓦の補修を行い、長年の懸案であった内陣の雨漏りもおさまり、お内陣がより荘厳で静謐な空気で満たされました。誠にありがとうございました。



## 蓮如さんの吉崎西別院讃仰会

令和6年度は会費収入のうちから50万円のご懇志を頂戴いたし、吉崎別院の一般会計へ繰り入れしました。厚くお礼申し上げます。

また、福井教区選出の宗会議員の方々のご尽力により全国31教区の門徒宗会議員様が全員個人会員としてご入会くださったほか、多数の僧侶宗会議員様も宗教法人会員としてご入会くださいました。全国の方々が吉崎別院にお寄せくださるご懇念が誠にありがたく、深く感謝申し上げます。

蓮如上人、折々仰せられ候う。

仏法の義をば よくよく人に問え、物をば人によく問い申せのよし仰せられ候う。誰に問い申すべきよしうかがい申しければ、仏法だにもあらば、上下をいわず問うべし、仏法は知りそうもなき者が知るぞと仰せられ候ふと。

(蓮如上人御一代記聞書 第六十六條)

【現代語訳】蓮如上人は、「ご法義のことは、詳しく人に尋ねなさい。わからないことは何でも人によく尋ねなさい」と折にふれて仰せになりました。「どういう人にお尋ねしたらよろしいのでしょうか」とおうかがいしたところ、「ご法義を心得ているものでありさえすれば、だれかれの別なく尋ねなさい。ご法義は、知っていそうにないものがかえってよく知っているのである」と仰せになりました。

折々仰せられ候うとありますように、蓮如上人にはお念仏のみ教えについて幾たびも人に問い尋ねるようお勧めになるお言葉をたくさん見つけることができます。それも「上下をいわず問うべし」との仰せです。「信・不信ともに、ただ物を言え」「何ともして人に直され候うように心中を持つべし」と言った蓮如上人のほかのお言葉たちも、こ

れに関連しているように思われます。

単に知識のあるなしではなく、自らの信念や信仰のことに關して人に問う場合、問うて間違いに気づくことには、大抵の場合自分の否定がつきものです。自ら尊敬する人物や尊敬に値する立場の人に教えられるならば、素直に感謝のうちに受け入れることもできるのだと思いますが、逆の場合はどうでしょう。自分が間違っていないと思っていればいるほど、その否定は屈辱とも受入れを拒否する反発ともなるかもしれません。

あるいは問うこともなく、口のうえや外面では信仰者のふりをするのができたとしても、それで救いが成立したことはありません。蓮如上人は「人に負けて信をとるなり」とも仰せになります。問わなければ負けることもない道理ですが、しかしそれで得られるものとはいったい何でしょう。問わずにいれば勝ったことになるのでしょうか。問うことを拒否するがゆえに、せっかく浄土真宗にご縁をもちながら「得手に法を聞く」ような独り合点の訳知り顔や「信はなくてまぎれまわる」ような外面のみをとりのつくろいつつ、お救いからもれる人々のいることは蓮如上人にとって最大の課題でありました。

お念仏をいただくということは自身や世間の見え方が変わってゆく体験です。阿弥陀様の智慧のみ光に照らし出された見え方をよるこびつつ、見せてくださったご恩のもとに、たとえたとどしくとも歩みを進めていくことを信心の智慧と申します。すべてのいのちを平等にお救いくださる阿弥陀様のご本願のお働きであってみれば、誰でもあってもその歩みに上下の別はありません。

蓮如上人は別のお言葉で、ご自身が上下を問わ

ず人々と親しく膝を交えてお念仏のみ教えを語り合ったことを仰せになっています。そこには「身をすてておのおのと同座する」「同一に念仏して別の道なし」「信心の人は皆兄弟」といったお言葉が出されます。ここで言われる「おのおの」や「信心の人」のことを「同一に念仏して別の道なき」お念仏の仲間として御同朋御同行といえます。世間的な尺度による様々な上下の別ではなく、それぞれが阿弥陀様のご本願に等しく誓われた存在として、あらためて出会いあらためて認め合うお念仏の仲間たちです。それは信心の智慧が一人ひとりの生きざまとして、生きた言葉として現れる場所にはかなりません。上人が「上下をいわず問うべし」と仰せになるのも、仏法は御同朋御同行の中で問えとお心なのだといえます。ご自身もまた、信心の智慧によって同座のご教化へと導かれ、御同朋御同行に対して自ら仏法を問うてゆかれた方だったと思うのです。

「仏法だにもあらば」とあるのは「仏法の心得さえある者ならば」ぐらいの意味ですが、「仏法は知りそうもなき者が知るぞ」のお言葉は、仏法の心得のありなしを私見で判断しないように仰せくださっているように思われます。少し考えれば二つの言葉は矛盾したことのようにも思われるのですが、これはこの一条の味わいどころだと思えます。その他この条で言われる仏法とは具体的にどんなことを指しているのか、等々、読んでも読んでも尽きない味わいのある一条ですが、「仏法は知りそうもなき者が知るぞ」の仰せは、私がお念仏の友、あるいは師を見つげるにあたっての、また、私が真の信心をいただくにあたっての最も頼りとなる大切な言葉だといたいただいております。

# 蓮如上人のお言葉缶バッジ

缶マグネット追加



道の駅への買い物・観光目的の方々にも蓮如上人のお人柄やお言葉にふれていただけるよう、『蓮如上人御一代記聞書』のお言葉を抜粋した「蓮如さんのお言葉缶バッジ」に缶マグネット版を追加いたしました。事務所前のガチャマシーンでお求めになれます。ぜひぜひお手にとってくださいませ！

※御門主様の百華金庫の教化助成金対象事業にしていたいただきました。



## 蓮如さんの吉崎西別院讃仰会



住所：〒922-0679 福井県あわら市吉崎1-201 本願寺吉崎別院内

電話/FAX：0776-75-1903 メール：info@rennyo-sangou.com

ウェブサイト：https://rennyo-sangou.com

銀行口座：福井銀行 大聖寺支店 普通口座 531-6033589 口座名 蓮如さんごう（レンニョサンゴウ）



地震に強い  
金属屋根の北川



〒918-8543  
福井県福井市問屋町2-65  
☎ 0776-22-2694  
[FAX] 0776-21-8186



(有)庭研ふくい

〒910-2161  
福井県福井市脇三ヶ町23-2  
電話・fax 0776-41-3901

企業会員様  
募集中！

吉崎別院の  
配布物に  
企業会員様の広告を  
掲載できます

「蓮如さんの吉崎西別院讃仰会」では、浄土真宗の礎とお敬いする蓮如上人のご遺徳を顕彰し、本願寺吉崎別院を中心としたお念仏相続の環境を永きにわたって支援することを目的としております。趣旨にご賛同くださる皆さまに、当会へのご入会をお願い申し上げます。



www.hongwanji-yoshizaki.info  
本願寺吉崎別院 公式サイト

### ご懇志のお振替 / お振込

【ゆうちょ銀行からのお振替】  
記号・番号：00780-7-4561

【ゆうちょ銀行以外の金融機関】  
ゆうちょ銀行 ○七九店〈当座〉  
0004561

### 年間行事予定

〈除夜会 / 元旦会〉 12月31日 / 1月1日  
〈春季彼岸会〉 春分の日  
〈御忌法要〉 4月27日～5月1日  
〈報恩講〉 8月上旬  
〈秋季彼岸会〉 秋分の日

### 寺務受付

9時～16時（一座経は事前にご予約ください）

※都合により閉めている場合がございます。

### 別院へのアクセス

加賀インターから 約10分 / 金津インターから 約15分  
芦原温泉駅・大聖寺駅から 車で20分  
あわら湯のまち駅から 車で約20分  
「あわらぐるっとタクシー」道の駅「蓮如の里あわら」下車

